



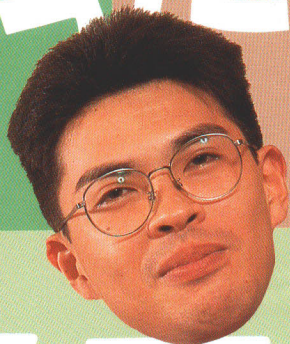
できれば若い人達とも話をしてみたい。  
町みんなが一体感を持てば、もっといい環境がきっと生れるから…。

佐藤孝雄さん(農業経営)

生まれたときから桑折町に住み、現在も現役で農業に従事。佐藤さんのお母さん、娘さん夫婦、お孫さんと4世代が同居する大家族の大黒柱です。

ずっとこの町を見てきて、やっぱり時代の流れとともに変わってきたなあと感じる部分があるよ。昔は本当に田舎の農村という感じだったから。今は施設の充実が実現して、教育などの面がいい方向に向かっていると思うんだ。役場や若い人達がとても頑張っているよね。だから素朴で美しい自然を維持しながらも、「学び」の場がたくさん用意された理想的な社会環境が整いつつあるんだろうな。そういう意味では町自体はとても活性化しているし、これからの問題にも前向きに取り組んでいる。ただ、人の温かさっていうのは昔から変わらない。転動とか結婚で初めて桑折町で暮らすようになる人も多いけど、すぐになじんで生活しているようだし。これからは、もっと子供や高齢者、障害者などへの配慮を重視していくべきだと思う。もちろんそれには町民一人ひとりの意識の啓発も必要。若い人達とのコミュニケーションの中から問題点や反省点をクリアしていくこともできそうだよ。

私た



提

お嫁にくるまでは「田舎」のイメージが強かったのですが、今では自然と共存できる住みやすい町だと思えるようになりましたね。春になると桃の花のピンクと菜の花の黄色のコントラストがとてもきれい！半田山という名所もあるし。私たちもそうだったけど、こんなに素敵な所があるということ、案外桑折町の周辺に住んでいる人達は知らないんじゃないのかしら。せっかくだからもっと町民以外の方たちにPRしていきたいわ。ほかにも、私たち主婦にとつてうれしいと思うことがたくさんあります。例えばごみの収集日が周辺の市町村より多いとか、公民館活動が活発で、多くの人達と仲良くなれるとか。排他的な所がないから安心。逆に今一番切実に願っているのが、高齢者の介護問題。友人がお姑さんの介護を一手に引き受けているのを見ていて、デイサービスのような対応があればいいのにと考えることがあります。お年寄り同士の交流が生まれるきっかけにもいいですよ。

よそからお嫁にきてもすぐうちとけられました。介護の問題への取り組みをととても期待しています。

高原恵子さん(主婦)

岡田恵美さん(主婦)

福島市から嫁いで桑折町民になった2人。公民館活動や食事会などを通して「お嫁さん同士」の交流を深めています。

